

# 平成29年度 自己評価公表シート

社会福祉法人撫子会 なでしこ保育園

## 1、平成29年度は下記のような重点的な目標・計画を立て、行ってきました。

| 目 標               | 計 画  |
|-------------------|--|
| 行事の見直しをし、保育の充実を図る | 行事はいろいろな可能性があり、児童の育ちも様々な方向からねらえるものであるが、その大前提として日常的な保育の中で児童の育ちが保障されていかなければならない。行事も保育の一環であり2つが連動し、保育の流れから行事、行事の流れからの保育の広がりにつながるような取り組みをする。 |
| 保育所保育指針の理解を深める    | 平成30年度に保育指針が変わるに伴い、読み合わせし理解を深めていく。   |
| 職員体制について          | 児童達の豊かな育ちを保障するためには、質の安定した保育を提供する役割を担っている。保育の質を支えているのは一人ひとりの職員である。そのためにもよりよい職場づくりの工夫をし、一人ひとりの職員の力が発揮されるような環境を整える。                         |
| 危機管理・衛生管理の充実      | 非常災害対策計画等を全職員と見直し、危機管理衛生管理体制等を整える。   |

## 2、自己評価の項目ごとに評価しました。(上記1の重点目標・計画も含む)

| 評価の視点 | 自己評価の項目                    | 職員から出された意見 42名回答           |   |                      |               |
|-------|----------------------------|----------------------------|---|----------------------|---------------|
|       |                            | A 充分達成されている                | B 達成されている   | C 取り組まれているが、成果が十分でない | D 取り組みが不十分である |
| 保育理念  | 建学の精神・教育保育方針・諸規<br>則の理解と実践 | A 7<br>B 21<br>C 17<br>D 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全体で建学の精神、教育保育方針、規則を再度確認する必要があると感じる。</li> <li>・平成30年度に変わる保育指針の読み合わせし理解を深めていくことができた。</li> </ul> |                      |               |

|          |                            |                              |  |
|----------|----------------------------|------------------------------|--|
| 子どもの発達援助 | 保育の在り方<br>児童への対応           | A 2<br>B 2 1<br>C 1 8<br>D 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で子どもへの対応に違いがある。特に支援が必要な子には統一できるよう再度確認が必要。</li> <li>・行事の見直しをしたことで日常の保育でも今までできなかったことや異年齢での活動ができた。</li> <li>・現状に満足せず、その年の子どもたちに合った保育内容を考え成長につなげる必要がある。</li> </ul>                            |
|          | 危機管理・保健衛生・安全<br>教育に対する取り組み | A 4<br>B 2 4<br>C 1 3<br>D 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生面での取り組みが全体で頑張れたと思う。</li> <li>・非常災害対策計画等を全職員と見直すことができたが、まだまだ話し合いや検討が必要である。</li> </ul>   |
|          | 様々な生活リズム、様々な年齢の<br>児童への配慮  | A 2<br>B 2 5<br>C 1 4<br>D 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のクラスを中心に見てしまい他のクラスの子にも積極的に声をかけるよう心がけたい。</li> <li>・延長の時間の保育の仕方の見直しが必要と感じた。</li> <li>・生活リズムが不規則な家庭が多くこどもたちの情緒にも影響しており、クラスだよりや保護者に直接伝えるなどしたが、あまり改善が見られなかった。伝え方工夫が必要。</li> </ul>               |
|          | 行事への取り組み                   | A 5<br>B 2 3<br>C 1 3<br>D 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1つ1つの行事をじっくり取り組むことが出来た。</li> <li>・行事の見直しをすることで保育の流れから行事、行事の流れからの保育の広がりにつながるような取り組みをすることができてきた。子ども達が主体的にできるような工夫をさらに考えたい。</li> <li>・行事の削減により、保護者に納得して頂くような保育の在り方は今後も続けていかなければならない。</li> </ul> |
|          | 食育への取り組み                   | A 8<br>B 1 4<br>C 1 7<br>D 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培から収穫・クッキングを展開し食育につなげていきたい。</li> <li>・畑での野菜を育てる機会があり食育へ取り組んでいると感じるところもあるが、こどもたちの意思で生育を見たりできていたわけではなかった。畑へ出向く機会を増やし取り組みたいし、野菜に対しての知識も増やしていきたい。</li> </ul>                                 |

|             |                        |                              |   |
|-------------|------------------------|------------------------------|---|
| 保護者に対する支援   | 保護者・地域への対応             | A 2<br>B 2 5<br>C 1 4<br>D 1 | ・初めての集団生活を送る子には安心して過ごせるよう接したり、保護者の方に園での様子を伝え、安心して頂けたと思う。  |
| 保育を支える組織的基盤 | 研修への取り組み               | A 4<br>B 2 1<br>C 1 5<br>D 2 | ・毎年同じ内容の研修（給食）なので、様々な内容の研修に参加したい。<br>・学んだことを生かしきれないでいる。全体に発信し協力し合い、改善していく面で努力がたりていないと思う。        |
|             | 週・出納・管理<br>施設・整備管理・職員処 | A 1<br>B 2 3<br>C 1 6<br>D 2 | ・働きながら子育てをすることに限界を感じることも多かったが、様々な処遇改善（子の看護休暇等）はとても良いと感じた。さらに工夫をし、一人ひとりの職員の力が発揮されるような環境を整えていきたい。 |

### 3、平成30年度の重点的な目標・計画（なでしこ保育園）

| 目 標                       | 計 画  |
|---------------------------|--|
| 滝沢中央小学校開校、認定こども園に向けての取り組み | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度 滝沢中央小学校開校にあたり新小学校との連携の仕方、環境の変化等見据えながら計画的に取り組む。</li> <li>・なでしこ保育園は、幼保連携型 認定こども園の申請をする予定の為、1号認定こどもを受け入れるための保育環境、事務的環境の整備及びそれに係る研修を行い、職員間の共通認識を深める。また、保護者に対してもご理解頂くよう努める。</li> </ul> |
| 保育の充実を図るための環境作り           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度、行事の見直しを行ったことを検証しつつ、更に保育内容の充実に取り組む。</li> <li>・菜園を利用した野菜作りから収穫、調理、食事へと流れをもった食育計画となるよう見直す。</li> <li>・新保育指針を共通理解するとともに、育ちの連続性を大切に保育や環境構成の見直しをすることで、児童が自発的に物事に取り組めるよう保育体制を整える。</li> </ul> |
| 働きやすい職場環境への取り組み           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人ひとりの考えや能力、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を進めていくことで働きやすい職場となるようにする。</li> <li>・職員がスキルアップできる職場環境を構築させるために、互いに尊重し合い、年齢や経験にかかわらず円滑なコミュニケーションを取れるよう努める。</li> </ul>                                      |

#### 4、施設関係者評価

自己評価への総評 なでしこ保育園

教職員が一丸となって問題解決や改善に努力し活動していることに感謝する。

「建学の精神・教育・保育方針・諸規則の理解と実施状況」の評価を17名がC評価の「取り組まれているが成果が十分でない」という評価であった。保育理念に基づいてしっかりと研鑽を積み、児童に対し温情溢れる対応をしてくださっていること、大変ありがたく思う。これほど児童を大切に親切に指導し見守ってくださればご家族の人たちは安心すると思う。

一般的に自己評価は達成しているようだが、「食育への取り組み」はまだ十分ではないと感じた。畑に出向く機会を増やしていきたいと自己評価していたように、食育への取り組みは大いに賛成である。給食献立で使用する野菜の栽培計画を立てると良いと思う。

「職員の処遇改善」の予算を大いに利用して職員の向上に役立ててほしい。

保育に於いては、一人ひとりの子供の置かれている状態、及び家庭、地域社会における生活の実態を把握するとともに子供が安定感と信頼感を持って活動できるように例年にも増して頑張してほしい。

どの項目もB評価が多いが、自己評価が厳しいのか、本当に達していないのか疑問であるが、ぜんぶA評価になるような取り組みを期待する。

行事の見直しにより、保護者の不満の声も聞かれたが、職員、子供の負担が減り、一つ一つじっくり取り組み日常の保育が充実したことは良かった。保護者に理解されるように伝えればと思う。

「保護者・地域への対応」が一番良い評価だったのに対して「職員の処遇」で職員の大変さが伝わってくる。子供や保護者には大変気遣ってもらっている。職員自身の健康管理に気を付けながら頑張してほしいと感じる。